



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2020

No.20 (2020年 10月21日発行)

科学部「集まれ！理系女子」第4回九州大会参加

2020年9月19日(土)9:50~16:40に、本校科学部が、南九州大学の秋山繁治教授主催の「『集まれ！理系女子』女子生徒による科学部研究発表 Web 交流会—第4回九州大会—」にZOOMで参加しました。

本校科学部は、絶滅危惧種であるトウキョウサンショウウオの保全をテーマに研究と活動を続けていますが、全国のサンショウウオを研究している高校の科学部(もしくは生物部)が一同にZOOM上で集まり、研究発表を行いました。また、本校の科学部に多大なるご支援ご指導をいただいている宇都宮大学の飯郷雅之教授をはじめ、多くの専門家からのご講義もいただきました。

オンラインでの発表会となりましたが、順調に発表会が進行し、活発な質疑応答もなされました。コロナ禍の中でも、このように同じテーマ(もしくは近いテーマ)での高校生同士の交流が行われるのは大変素晴らしいことです。今後も科学部は活動を続けていきますので応援よろしくお願いします。

◆参加校とテーマ

| 番号 | 参加団体名 | 発表タイトル |
|----|----------------------------|--------------------------------|
| 1 | 岐阜県立岐阜高等学校生物部 | 守れ！ふるさとのヤマトサンショウウオ～13年間の活動記録 |
| 2 | ノートルダム清心学園清心中学校清心女子高等学校生物部 | オオイトササンショウウオの明暗周期における活動リズムについて |
| 3 | 岐阜県立大垣北高等学校自然科学部 | 岐阜県大垣市に生息するマホロバサンショウウオの生活史について |
| 4 | 岐阜県立岐阜高等学校 | ヤマトサンショウウオの性フェロモンと受容体について |
| 5 | 栃木県立佐野高等学校 | トウキョウサンショウウオの保全活動と遺伝的多様性 |
| 6 | 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校生物部 | オオイトササンショウウオの繁殖と保護を目指して |

◆ご講義をいただいた専門家の先生方

| 番号 | 講義者 | 講義タイトル |
|----|---|--|
| 1 | 南九州大学教授教養教育センター・秋山繁治 氏 | イモリ属の北限に生きるアカハライモリの繁殖戦略～秋から春をまたぐ多重交配の謎を解く～ |
| 2 | 川崎医科大学自然科学教室准教授・西松伸一郎 氏 | 吉井川のオオイトササンショウウオについて |
| 3 | 岡山大学異分野融合先端研究コア研究教授・佐藤伸 氏 | 両生類の器官再生 |
| 4 | 広島大学原爆放射線医科学研究所教授・理化学研究生命科学機能研究センターチームリーダー・渡邊朋信 氏 | 科学して幸せになろう |
| 5 | 宇都宮大学農学部教授・飯郷雅之 氏 | 「にさん」の履歴書と高大連携による研究活動推進の実例 |
| 6 | 日本両棲類研究所所長・篠崎尚史 氏 | 『日本両棲類研究所の活動について』自然保護と再生医療 |

◆発表会の様子



◆発表生徒の感想

「全国の高校生で、同じようにサンショウウオの研究をしている人たちと交流が出来てとても良い経験となった。特にサンショウウオがどれだけ深く土の中に潜るかという実験については、自分でもやってみたくと思った。今回学んだことを今後の研究や保全活動に活かしていきたい。」(部長) (2年 戸室 琴乃)

「同じ高校生がサンショウウオという同じテーマ研究でレベルの高い発表をしているのを聞いてとても刺激を受けました。また、宇都宮大学の飯郷先生をはじめとした講師の方々の話は全国の異なる種のサンショウウオの話は興味深くてためになる話ばかりでした。」(副部長) (2年 青木 華瑚)